

品川・生活者ネットワークを代表して、「品川上空を飛行する羽田新ルート計画に反対する決議」に賛成の立場で討論します。

品川・生活者ネットワークは、当初よりこの羽田新ルート計画案には反対を主張し、区議会へも反対の態度を示すべきと呼びかけてきました。この新ルート案は、区民の命と暮らしの安全を脅かすものであり、たとえどんな経済的メリットが示されようとも、命にかえられるものはあり得ないと考えるからです。

品川区議会は、これまで2回にわたって国交省に対して意見書を提出してきました。その成果として教室型の説明会開催にはこぎつけましたが、説明の内容はこれまで配られた資料をなぞるものにすぎず、十分な質疑の時間も取られないというものであり、参加者の方からは大きな不満の声ばかりが聞こえてきます。「教室型説明会を開催した」という実績を残すための形のみのものであると言わざるを得ません。

区民から決して理解を得られていない計画案であるということへの認識は、品川区議会の中でも共通のものとなっており、少なくとも現行の新ルート案は容認しがたいところまでは一致していると考えます。今回、同時に提出された「品川上空を飛行する羽田新ルート計画に関する決議」からもそれは読み取れます。ここに表現されているのは即ち「現在進行中の羽田新ルート案には反対」ということにほかなりません。従って「品川上空を飛行する羽田新ルート計画に関する決議」にも反対するものではありませんが、ここまで言うのであれば明確な意思表示として「現在の羽田新ルート計画には反対」と明らかにし、それによって国土交通省に強く見直しを訴えるべきです。

もしこのまま計画が実行され、万が一の事態があった場合、明確に反対の意思表示をしなかった議会の責任も区民から問われます。改めて「品川上空を飛行する羽田新ルート計画に反対する決議」への賛成を議員の皆様と呼びかけて、品川・生活者ネットワークの賛成討論を終わります。

吉田ゆみこ